

京都女子大学

---

図書館情報学研究紀要

---

5

2018年3月

## 目次

ウィキペディアタウン東山： 京都女子大学図書館司書課程におけるアクティブ・ラーニング実践 .....	桂 まに子...	1
『これからの図書館像』に見る窓口としての公立図書館像 .....	坂本 俊...	13
「児童サービス論」と「読書と豊かな人間性」の比較試論 .....	坂下 直子...	17
図書館司書課程における新図書館を活用したアクティブ・ラーニング授業の展開 .....	設楽 馨...	29
図書館実習報告 .....		39

## 2017年度図書館実習報告

本学の図書館実習生は1年目に4名、2年目に5名と希望者が増えていたが、開始から3年目に初めて実習希望者が1名となった。直前まで悩んでいた学生が目立ち、就職活動のピークが実習期間と重なったことから実習プログラムへの参加を断念してしまったのは残念である。次年度は、短期集中型である国立国会図書館の図書館情報学実習も紹介し、実習希望生に選択肢を増やす工夫をしていきたい。

本学の実習プログラムは、事前学習6回、図書館実習4～6日、事後学習2回で構成され、図書館司書課程の教員2名と共に進めている。プログラムの主な内訳は以下の通りである。今年度も過去2年と同様の内容であったが、実習生が少ないゆえにできたことがある。実習生が京都市図書館でのアルバイト経験が長く、卒業後に図書館への就職を希望していることを踏まえ、事前学習の中では図書館をめぐる最新のトピックを取り上げて議論を深めた。図書館見学は1館に絞り、実習生が既に知っている京都市や京都府の図書館ではなく、規模や地域性の異なる別の自治体の図書館に見学を依頼し、図書館同士の比較ができるようにした。

1. 図書館実習オリエンテーション
2. 図書館見学の準備
3. 図書館業務の復習、カレントアウェアネスなど
4. 図書館実習の心得、ラーニングコモンズなど
5. 京都市図書館の運営・経営の復習、京都市図書館の特徴
6. 図書館見学：大阪市立図書館
- 7-13. 図書館実習、実習ノートの作成（京都市内の図書館）
14. 実習報告書の作成
15. 実習報告会：実習報告書をもとに実習生と情報・意見交換

今年度実習生による図書館実習報告を以下に掲載する。今年度の図書館実習の受け入れにご協力いただいた京都市醍醐中央図書館の担当者みなさまに感謝申し上げます。なお、2016年度実習生の中から1名が公共図書館に就職し、1名は図書館情報学を学ぶために大学院修士課程へ進んだことを最後に付け加えておく。  
(文責：桂 まに子)

実習館	京都市右京中央図書館
実習期間	2017年9月4日～10日 (休館日を除いた6日間)
実習生	文学部国文学科4回生 松宇美乃莉

#### 実習プログラム

朝は開館前にまずブックポストの返却本の回収または予約在架の回収を行った。開館時に来館者への挨拶をした後の実習内容は日替わりで以下の内容をこなした。

4日：業務内容の説明。カウンターでの貸返業務。予約資料の整理。

6日：新着雑誌の受け入れと装備。返却資料の配架、整理。

7日：カウンター業務。AV資料のケース等の修復。除籍資料へのはんこ押し。

8日：職員による読み聞かせ講座と参考業務講座を受講。

9日：おはなし会見学。おたのしみ会で読み聞かせ (紙しばい1つ、絵本1冊)。資料装備。除籍本箱詰め。

10日：AV資料ケース修理。除籍雑誌へのはんこ押し。弁償本へのブッカー貼り。

#### 特色あるサービス・業務

京都市営地下鉄駅舎の複合施設「パセオ・ダイゴロー」の中に図書館がある。企画別置資料が多く、月毎や半月毎によく変わる。地域資料も多く取り揃えられており、特に醍醐や山科地域の資料は別置されている。蔵書数は約20万冊、AV資料は約1万8,000点。AV資料はCD、DVDの他にビデオテープやカセットテープがあり、ビデオは館内でも視聴が可能である。DVDの館内視聴は、個別スペースの他に40インチの大画面テレビが5台ある。

地元の小学校、養護老人施設等と連携した読書推進活動の強化にも取り組んでいる。金曜日にはスタンプラリーを開催しており、貸出1回でスタンプが1つもらえる。そのほかにも行事への参加等でスタンプ進呈。個数に応じてしおりなどの景品がもらえる。夏期の夜間会館中にも実施していた模様。今年は開館20周年の記念の年。牛の「よもうくん」というゆるキャラがいる。

#### 実習で学んだこと

2回生の夏から京都市右京中央図書館で配架のアルバイトをしており、図書館の業務について多少経験があるという自負はあった。だが、アルバイトでは体験できない業務をいくつもさせてもらい、その業務の幅広さを改めて実感した。

カウンターでの貸返作業をできたことは嬉しかったが、本についての磁気を外す作業を何度も忘れてしまい、最後にカウンターに入ったときようやくミス無しで業務を終えることができた。除籍作業では、蔵書を良い状態で保つことの難しさを感じた。この他にも、おはなし会や新着資料の装備など様々な経験を通してより図書館業務を深く知ることができた。実習中は毎日とても楽しく、有意義な知識と体験をたくさん得られた。

後輩実習生へのアドバイス

醍醐中央図書館では、毎年1週間程度の期間を設けて様々な体験をさせてくれます。利用者としての目線だけでは見えない図書館が、この実習で見えてくると思います。

実習中はメモを取る場面が多く、素早くメモを取れるように、ペンはキャップが外れるものではなくノック式のものをおすすめします。また、醍醐中央館だけでなく図書館の児童コーナーには靴を脱いで上がる場所があることが多いので、靴は脱ぎ履きしやすいものが良いです。図書館の棚の位置は把握しておくことで業務がスムーズに進むので、実習が始まる前に何度か実習館に行き、棚等の配置と請求番号を頭に入れておくことは大事です。

利用者だけでなく、指導にあたってくださる職員の方々とのコミュニケーションも大切です。挨拶はしっかりとすることと、1つプログラムが終わったら、その都度お礼を言うことを忘れないことが肝要です。毎日様々な経験ができる貴重な期間です。体調管理に気をつけて、楽しんで実習に臨んでください。

京都女子大学図書館情報学研究紀要 5

発行日 2018年3月31日

編集・発行 京都女子大学図書館司書課程研究室

〒605-8501 京都市東山区今熊野北日吉町35

電話 075 (531) 7048